



権現山より望む小田急線

Creating a Buzz at the Four Stations

4 駅それぞれの
にぎわいづくり

小田急線4駅周辺のにぎわい創造に向け、住んでいる方、働いている方、学生など、まちに関わるさまざまな人の思いやアイデアを共有し、形にする場として、駅ごとに「にぎわい創造検討懇話会」を開催し、それぞれの特色を生かした事業に取り組んでいます。

秦野駅 Hadano Station

開業した当時は、現在の秦野市から中井町を経て二宮町までを結ぶ軽便鉄道で「秦野駅」の名称が使用されていたため、「大秦野駅」として開業しました。昭和12年(1937年)の軽便鉄道廃止後、半世紀の時を経て、昭和62年(1987年)に「秦野駅」と改称されました。

特急ロマンスカーが停車し、4駅の中で一番乗降者数が多い駅です。



はだののミライラボ

秦野駅北口では、中心市街地のにぎわいを創造するため、公民連携により、河川や道路空間などの公共空間を活用した居心地の良い空間づくりに取り組んでいます。この取り組みを「まちなか」に広げ、多くの方々と「はだののミライ」を考えながらまちの魅力を創造していきます。



リバーサイドリビング

来場者でにぎわう水無川沿いの市道



渋沢駅 Shibusawa Station

小田急線の駅の中で、最も標高の高い場所にあり、表丹沢の玄関口として多くの観光客が利用しています。平成5年(1993年)に山小屋をイメージした橋上駅舎に生まれ変わり、平成31年(2019年)には、秦野産の木材を活用して木のぬくもりを感じさせる駅空間を創出するため、コンコース壁面のリニューアルを行いました。

地元商店会及び商工会議所青年部と連携し、子どもたちが地域のまちづくりに参加する機会を創出するため、秦野産の木材を活用したベンチづくりを行いました。完成したベンチは駅の北口と南口に2台ずつ設置され、買い物中の休憩や表丹沢の景色を眺める場所として利用されています。



ベンチに色を塗る子どもたち



渋沢駅北口ペDESTリアンデッキに設置されたベンチ

東海大学前駅 Tokaidai-gaku-mae Station

昭和62年(1987年)に橋上駅舎に改築されたことを機に、「大根駅」から「東海大学前駅」に改称されました。東海大学湘南キャンパスの最寄り駅であることから、多くの学生でにぎわっています。



協力して絵を描く参加者

駅周辺を愛着のある場所にするために実施したチョークアートは、親子連れなど120名が参加し、駅前広場を彩りました。東海大学の学生がデザイン作成や当日の運営を担い、地域交流の機会にもなりました。このほか、毎月第1水曜日には、駅前において地元店舗の出店による「One(オオネ)マルシェ」が開催されています。



東海大学前駅の駅前広場を会場とした「One マルシェ」

毎月第1水曜日に開催されるマルシェです。

鶴巻温泉駅 Tsurumaki-onsen Station

昭和2年(1927年)に「鶴巻駅」として開業し、2度の名称変更を経て、昭和33年(1958年)に「鶴巻温泉駅」と改称されました。平成30年(2018年)には、内装に秦野産の木材が使われた駅舎へとリニューアルしました。

駅前広場を会場としていた「鶴巻温泉春まつり」の会場を試行的に拡大(弘法の里湯駐車場・温泉横丁、宮永岳彦記念美術館、つるまき北公園)し、周辺地域への回遊性向上や滞在時間の延長に取り組んでいます。

来場者でにぎわう弘法の里湯 温泉横丁



木くずのプール



An Extensive Arterial Road Network and Excellent Transportation Accessibility

広域幹線道路網と優れた交通利便性

市内には東名高速道路・新東名高速道路が整備されており、厚木秦野道路が計画されているなど、車社会において高い利便性を誇る、快適なアクセス環境が更に向上します。



東名高速道路

Tomei Expressway

☑ 東名高速道路

東名高速道路は、首都圏と中京圏の二大都市圏を結ぶ大動脈として全線が開通してから55年が経過し、この間、日本の経済活動と物流を支えてきました。本市においても、昭和56年（1981年）の秦野中井IC開通を契機として、商工業の発展や物流の効率化に大きな効果をもたらしています。



新秦野 IC 周辺

(NEXCO 中日本東京支社 提供)

新秦野IC及び秦野丹沢スマートICは、令和4年（2022年）4月16日に同時開通しました。

Shin-Tomei Expressway

☑ 新東名高速道路

新東名高速道路は、現在工事中的の新秦野ICから新御殿場IC間が開通することで、東名高速道路とのダブルネットワークが形成され、交通利便性が更に向上し、秦野市内の産業基盤の強化や観光資源を生かした地域活性化など、さまざまな効果が期待されます。

Atsugi-Hadano Route

☑ 厚木秦野道路

東名高速道路・新東名高速道路・圏央道と連結し、一体の広域交通ネットワークとなる厚木秦野道路は、国道246号のバイパスとして、周辺地域との交通の流れを円滑にし、沿線都市の経済活性化や地域交流を促進するとともに、災害時における緊急車両の迅速な到着に寄与することが期待されています。



秦野丹沢 SA 下り (工事中)

(NEXCO 中日本東京支社 提供)

新東名高速道路の全線開通及び秦野丹沢SAの開設は、令和9年度（2027年度）に予定されています。

